



VOL.37

第一物産株式会社

市内企業の優れた技術力や製品、サービスを紹介いたします。



酒田支店 主任 土屋貴洋さん
経営理念の「お客様第一」を忘れず、日々奮闘しています。

生活に身近な専門商社

当社は、東北6県に拠点を持ち営業展開している専門商社です。創業時には、農業資材・農薬・肥料など米どころ酒田ならではの*商材を、現在は、工業化学薬品・環境機能商品・食品原料を中心に取り扱っています。

官公庁や半導体工場、食品工場などのお客さまのニーズや業態に合わせ、多岐にわたる商材の中から最適なものを提案できるよう努めています。

くらしの水を支える仕事

取扱品目の大部分を占める商材として、水を浄化するための化学薬品があります。水は家庭や職場で毎日使われる身近なものですが、当社では上下水道施設や工場へ薬品を供給することで幅広い場面での水処理に関わっています。大切な水を化学の力を借りてマネジメントするのが当社の大きな役目です。

企業の概要

沿革 昭和43年両羽町で創業、昭和51年山形支店開設、昭和52年秋田支店開設、昭和54年本社現地に移転、昭和55年八戸支店開設、昭和57年北上支店開設、昭和59年仙台支店開設、平成元年仁賀保支店開設。

商号 第一物産株式会社
資本金 1億円
住所 酒田市卸町1-12
電話 ☎23-1155
代表取締役社長 小田原 光穂
従業員数 83人
事業内容 化学工業薬品、食材原料、環境機能商品などの販売
ホームページ <http://www.ichibutsu.co.jp>



注文があれば、自社のトラックに専用のタンクローリーを載せ、直接納品します。



水処理用の凝集剤など液体の化学薬品を種類ごとに貯蔵しています。

一番の強みは、自社敷地内に大型の薬品タンクを設置し、自社の車両で商品を納入する体制を整え、小回りの利く配達が可能なお仕事です。東日本大震災の非常時にも柔軟に対応することができました。各種商品の安定供給により、陰ながら社会を支える存在になりたいと思います。



本社・酒田支店

地震への備え、万全ですか？

市危機管理課 危機管理係 ☎26・5701

4月14日夜に発生した、マグニチュード6.4（最大震度7）の地震を発端とした一連の地震災害（平成28年熊本地震）では、多くの尊い命が失われ、被災した方々の多くは、今も不自由な生活を送っています。同地震で亡くなられた方々に謹んで哀悼の意を示すと共に、被災された方々からのお見舞いを申し上げます。

直下型地震は、本市でも起こり得る災害です。本市にも、直下型地震の原因となり得る庄内平野東縁断層帯があります。本市周辺は地盤が軟らかいため、強い揺れの他に、液状化現象などによる被害が発生する恐れがあります。日頃からの備えが重要です。

確認しよう！ 災害への備え

災害について知る

酒田市民防災ガイドブックやハザードマップを確認しましょう。

情報入手手段

携帯ラジオ、緊急速報メールで正しい情報を得られるようにしましょう。

非常持出品や備蓄品の準備

3日～7日は生活できる量を用意しましょう。

避難訓練などへの参加

避難場所・経路を確認し、地域内で顔の見える関係を築きましょう。

家の中の安全対策

家具が転倒しないよう固定しましょう。

家族との連絡方法を決めておく

通信各社の提供する災害伝言板の活用や、もしもの時の集合場所を決めておきましょう。

義援金の受け付け

- 場所／市役所1階総合窓口、2階福祉課、各総合支所地域振興課、酒田市社会福祉協議会（新橋二丁目）
 - 受け付け／平日午前8時30分～午後5時15分
- 酒田市福祉課地域福祉係 ☎26-5731

